

「医療基本法」制定に向けて研究・検討を重ねてきた  
研究者・実務家有志による論文集

# 医療基本法

患者の権利を見据えた医療制度へ

## 医療基本法

患者の権利を見据えた医療制度へ

医療基本法会議

エイデル研究所

### 医療基本法会議 [編]

A5判・上製 / 325ページ /  
定価 (本体3,200円+税) /  
2017年11月刊行

日本では、国の立法政策課題の後ろ盾として、「基本法」に一定の存在意義が認められている。医療の分野でも、がん対策基本法、肝炎対策基本法など、個別疾患領域の基本法は、既にいくつか定められている。また、新たな疾患別基本法を制定しようとする動きもある。

しかしながら、個別疾患を超えた医療一般に関する基本法＝医療基本法は、現在のところ日本には存在しない。国民の命にまさに直結する重要な問題である医療の基本的な法政策の方向性について、その後ろ盾がないのは、医療が社会状況次第で大きく変化にさらされる恐れが多分にあり、非常に心許ないことである。

そして現在、医療機関における慢性的な人手不足、医療費高騰、高度高齢社会の進展とそれに対する対応など、医療の根幹を揺るがしかねない事態に日本の医療は直面しており、医療を取り巻く多くの問題の改善が、焦眉の課題となっている。（「本書はしがき」より）

## Contents

はしがき (手嶋 豊)

### 第一部 総論：医療基本法とは何か

- 1 基本法とは何か (古城隆雄・山口齊昭)
- 2 医療基本法の意義 (鈴木利廣)
- 3 医療基本法論の現在地 (一家綱邦)
- 4 医療基本法と患者の権利 (手嶋 豊)

### 第二部 各論：医療基本法に関わる様々な問題

- 5 医学教育における医療基本法の役割 (上杉奈々)
- 6 産婦人科医療から考察する医療基本法の検討課題 (上杉奈々)
- 7 医療保障の理念からみた救急医療の課題 (古城隆雄)
- 8 精神科医療と医療基本法 (中村好一)
- 9 「医療基本法制定に伴う医事関係法規の整備に関する法律」の必要性—医療基本法制定後の課題 (手嶋 豊)

あとがき (鈴木利廣)

## 執筆者紹介

※執筆順

- 手嶋 豊 (神戸大学大学院法学研究科教授)
- 古城 隆雄 (自治医科大学地域医療学センター  
地域医療学部門講師)
- 山口 齊昭 (早稲田大学法学学術院教授)
- 鈴木 利廣 (弁護士、明治大学名誉教授)
- 一家 綱邦 (国立がん研究センター  
生命倫理・医事法室長)
- 上杉 奈々 (獨協医科大学教育支援センター  
医事法制研究室講師)
- 中村 好一 (自治医科大学公衆衛生学教室教授)

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9  
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	医療基本法—患者の権利を見据えた医療制度へ 医療基本法会議 [編]
		部	本体価格3,200円+税 ISBN978-4-87168-607-5
		氏名/団体名	
		住所 〒	
		TEL	